

## II 事例研究

### 2 青少年の参画を目指す活動事例

# 青年が子どもに夢と感動を！ ～子どもに夢を運ぶ青年のボランティア活動～

子どもが好きな学生や社会人が集まって、子どもたちにクリスマスプレゼントを届けるサン

タクローズになったり、キャンプなどを実施中



関わっている人<幼児、小学生、大学生、青年、成人>

☆活動名 サンタがうちにやってくる・わいわいキャンプ

**【活動の趣旨】** 青年がサークルの仲間とともに自分たちで考え、自分たちで行動することをとおして、お互いに成長していくことを目指す。

**【主催】** 佐野市教育委員会生涯学習課

**【対象】** 18歳～30歳くらいまでの子どもが好きな学生や社会人

**【始めるきっかけ】** 平成13年当時、佐野市内においては目立った青年のボランティア団体としての活動がなく、生涯学習課として子どもたちのためにボランティア活動をしてみたい若者を募り、「ちやいるどりーむ」と団体名を付け、企画から実施までする青年のボランティア団体が発足した。その主な活動として、「サンタがうちにやってくる」・「わいわいキャンプ」がある。

**【広報のしかた】** 「サンタがうちにやってくる」・「わいわいキャンプ」のチラシはデザインから工夫して青年たち自身が作成し、市内の各児童館・こどもの国・公民館等を通じて広報している。



**【活動内容】** ①「サンタがうちにやってくる」  
8月末から企画を始め、本番までに20回以上のミーティングを実施する。「ちやいるどりーむ」の継続的なメンバーは20人程度で、その他、10月頃にこの企画のために改めて青年ボランティアの募集を行う。11月頃にサンタにプレゼントを届けて欲しい家庭を募集する。事前に希望した家庭からプレゼントを預かり、12月23日（祝）の夜、サンタを信じる子どもたちの元に、保護者の方が用意していたプレゼントをボランティアサンタが届けて回る。



## ②わいわいキャンプ

対象：佐野市在住の小学4～6年生

定員：40人

会場：佐野市青少年教育キャンプ場

期間：7月に1泊2日

5月、スタッフによる予行キャンプの実施。6月、参加者募集を市内各小学校にかける。5月から平日の夜10回程度のミーティングを行い本番に備える。メンバーそれぞれ必ずしもキャンプのプロではないが、みんなで企画協力し、少しでも子どもたちのためになるキャンプを目指す。自分たちの研修の場でもある。



### 【成果と課題】

ボランティアをしたいという青年が集まり、地元の子もたちに喜んでもらえる活動ができた。これから、もっと子どもたちや地域とのつながりが持てないかと考えている。

☆これから始める人へのメッセージ

みんなで協力して、何かをつくっていくことが楽しい。

### ちやいるどリーむ

代表者 岩田 耕一

所在地 〒327-8502

佐野市大橋町 2044 番地 佐野市教育委員会生涯学習課

電話/FAX 0283-24-5333/0283-23-1051

